

ごあいさつ

いつも京阪電気鉄道をご利用いただき、誠にありがとうございます。

当社は、安全で安心な旅客輸送サービスの提供を最大の使命とし、安全管理規程に基づき、安全管理体制を構築し、安全確保に向けた様々な取り組みを行っています。

本年、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に変更となり、約3年間続きました国の人流抑制策が終了しました。この間、皆様には弊社の感染拡大防止対策に多大なるご協力をいただきお礼申し上げます。一日も早く、かつての日常生活を取り戻せることができるよう祈念して輸送サービスを提供してまいります。

昨年弊社では、集中豪雨などによる激甚化する自然災害に対し、お客さまの安全確保を最優先とした「災害への対応方針」を策定しました。従来からのハード面での減災対策のみならず、この対応方針に基づき、各種訓練などを実施することにより災害発生時の対応力を向上しました。

鉄道の安全輸送面では、昨年度は京橋駅にホームドアを整備しました。本年度は、国が定めた「鉄道駅バリアフリー料金制度」を4月1日から導入し、現在これを財源として枚方市駅のホームドアなどの整備に取り組んでおります。引き続き、本制度を活用して、ホームドアなどの安全施設を鋭意整備してまいります。

今後も、鉄道の基軸サービスである「安全・定時輸送」の品質向上に努め、お客様が安心してご利用いただける鉄道を目指してまいります。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、主に2022年度に実施しました当社における安全への取り組みを皆さまに広く紹介するために作成しております。本報告書をご一読いただき、皆さまの忌憚のないご意見やご感想をお聞かせいただければ幸いです。



代表取締役社長 平川 良浩